

第11回 鶴瀬西交流センター

フェスティバル



10月1日(土) 10時00分～16時30分
10月2日(日) 10時00分～16時00分

第11回目を迎えるフェスティバルは、鶴瀬西交流センターを拠点に活動する各サークルの一年間の成果を発表する晴れ舞台です。今回の特集では、参加するサークルから、フェスティバルの意気込みを伺いました。ぜひ、隣近所お誘い合わせの上、お越しください。(詳しくはチラシをご覧ください)

展示部会

布遊会

会員の通り、いろいろの布をベースに、糸と針とミシンを使って、バックや小物を作りながら交流を楽しんでいる会です。指導者は特にいないので、お互いが教えたり教えられたりし、自分の好きなものを作り出す。指先を使うので脳トレになるのではとも動かしながら、皆で楽しみ励んでいます。



ステンダグラス

工房K

18年前、三芳町で活動を始めた、現在は、鶴瀬西交流センターを拠点に9人でサークル活動を続けております。体験教室開催時には、募集人員を大きく超える人々にご参加いただいております。

一つの作品を仕上げるためには、非常に多くの時間を費やすこととなりますが、作り上げた時の充実感、また格別です。

作品には、製作者個々の個性が大きく反映され、明るい色彩を好む人、淡い色彩を好む人とさまざまです。今回のフェスティバルでは、サークル員一人ひとりが、時間を費やし、工夫を凝らした作品を展示いたしますので、是非とも、ご来場いただき、ご覧ください。



ホビースクラブ

始まりは、サークル名の「ホビースクラブ」が示すように、子どもたちと楽しい趣味の世界を目指して平成元年に活動を開始し、現在サークル員は60人です。その後、形を変え、子どもたちが硬筆、毛筆を学ぶサークルとなりました。

初期の子どもと楽しむという基本姿勢を踏襲するため、硬筆、毛筆作品の題材を子どもたちが興味をもつてくれる「ディズニー」などとし、子どもたちが楽しめるよう工夫をこらしております。



フェスティバルでは作品の展示と一部販売も行います。今回は木目込み人形をお見せできると思います。ぜひお立ち寄りください。三月には「雛人形」や「吊し雛」等を交流センターに飾り皆さんに楽しんでいただいております。活動は毎月第一と第三火曜日に行っています。

催し物部会

ハッピーシユガー

フェスティバルは今年初めての参加です。

代表の佐藤さんの名前から「ハッピーシユガー」のグループ名でバンド活動をしていま



とたちあげました。礼に始まり、歩く、立つ、扇子の使い方など基本のお稽古、童謡・歌謡・民謡・琴曲・古典舞踊・長唄などもお稽古しています。4歳の幼児から小学生を対象にしていますが、中学生になると部活が忙しく、続けられなくなる子が多く、残念です。でも踊りが好きで、受験勉強をしながらお稽古を頑張っている子もいます。お稽古は隔週土曜日午前中です。中学生のために金曜日夜間のお稽古日もあります。フェスティバルの舞台に向けて頑張ってお稽古しています。興味のある方は見に来てください。



パワーアップ

カンガルー

平成19年、増進センターより依頼があり、椅子に座って筋肉を鍛える体操として、「セラバン体操」を西交流センターでも「パワーアップカンガルー」の名前で始めました。市内では35か所もあり人数は、千人を超えているそうです。



模擬店部会

鶴瀬西二歩の会

「自然を愛で健康で会員相互の親睦を図る」をモットーに登山、里山歩き、街中散策を楽しみながら懇親会などで親睦を深めている会です。



現在の会員は80人で、各自自分合ったコースに参加し、高い山に挑戦し身体を鍛えたり、街中の名所を巡り見識を深め弱った身体をリハビリしたり、仲間と談笑しながら心身のリフレッシュに努めています。フェスティバルにおいては、グルメの会と合同で模擬店を出し、「焼きそば」と「ジャガバター」の販売を行っています。一日約40人の会員の皆さんの協力により、毎年皆様に楽しんでいただいております。これも「地域の皆様との交流を図る」という二歩の会のモットーです。今後とも続けていきたいと全員で考え行動して行きます。

卓球倶楽部

平成4年、わずか4人で西公民館にて産声をあげました。現在は毎週土曜日に西交流センターで卓球をしています。月に一回は、つるせ台小学校を舞台に卓球を通じて、小学生との楽しい時間をすごしております。現在、倶楽部員は、60代から80代の21人で、卓球を楽しむこともできることから、楽しい語らいで親睦を図っております。フェスティバルでは大人向けに磯部もちを、お子様向けにフランクフルトを模擬店で販売しております。ぜひ、ご参加いただきご賞味ください。ご参加をお待ちいたしております。



舞台部会

小鈴会

子どものための日本舞踊教室です。学校が土曜日休校となった15年前、日本舞踊に親しんでもらい、古くからの日本の伝統文化を知って欲しい

